全國に散在する吾が特殊部落民よ團結せよ。

長い間虐められて來た兄弟よ、なが あいだいじ き きょうだい 過去半世紀間に種々なる方法と、多くの人々とによつてなかこはんせいきかん しゅじゅ ほうほう おお ひとびと

された吾りわれ らの爲めの 運ん 動が、 何等の有難い効果を齎らさなかつた事實なんら ありがた こうか もた は、 夫等のすべてが吾々に

よつて、 又他の人々によつて毎に人間を冒涜されてゐた罰であつたのだ。またほか ひとびと つね にんげん ぼうとく いたばち そしてこれ等の人間

を いたわ るかの如うでと き運動い は、 かへつて多くの兄弟を堕落させた事を想 へば、 此 際 吾 ないわれ

人間を尊敬する事によつて自にんげん そんけい こと みずか ら解放せんとする者の集團運動を起せるは、 寧ろ必然である。むし、ひつぜん

兄弟よ、 吾々の祖先は自由、 平 等・ の渇仰者であり、 實 行 行 -者であつた。 陋劣なる階級

の 犠^ぎせ は牲者であり、 男とこ らしき産業的殉教者 であつたのだ。 ケモノの皮剥ぐ報

生々しき人間の皮を剥取られ、なまなま にんげん かわ はぎと ケモノの心臓を裂く代價として、けもの しんぞう さ だいか 暖たか い人間の心臓を引裂かにんげん しんぞう ひきさ

れ、そこへ下らない嘲笑 の睡まで吐きかけられた呪はれの夜の悪夢のうちにも、^^^ば は なほ誇り得る

人間の血は、 涸れずにあつた。 そうだ、そして 吾 々 は、この血を享けて 人 間 が 神 にかわらうとす

る時代にあうたのだ。 犠牲者がその烙即を投げ返す時が來たのだ。 殉教者: が、 その荊冠を

祝福される時が來たのだ。しゅくふく

吾々が穢多である事を誇り得る時が來たのだ。

吾われわれ は、 かならず卑屈なる言葉と怯 懦なる行爲によつて、 祖先を辱い しめ、 人間を冒いるがある 瀆と

ならぬ。 そうして人の世の冷たさが、何んなに冷たいか、 人間を勦はる事が何んであるかをよくにんげん いた こと な

知つてゐる吾々し は、 こ 心 ろ から人生の熱と光 を願求禮讃するものである。

水平社は、かくして生れた。すいへいしゃ

人の世に熱あれ、人間に光あれ。ひとょねつ じんかん (にんげん) ひかり

大正十一年三月 水平社